

## 中期経営目標実績一覧表

平成23年12月公表  
 (平成22年度実績値)

### 基本的方向性1 安全・安心で良質な水道水の提供

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
<b>かび臭からみたおいしい水達成率</b> <small>【水道事業ガイドライン1105】            [(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-MIB最大濃度/水質基準値)]/2 × 100</small>	↑	70%	80%以上
<b>貯水槽水道の管理充実</b>	-	<p>貯水槽水道の仕組みや適正な管理の重要性に関する広報の実施            広報紙やホームページを通じた情報提供を行ったほか、利用者からの要請に応じて、現地の蛇口における水質検査を実施し、その結果をお知らせするなどの取り組みを行いました。</p> <p>貯水槽水道設置者に対する適正な管理を促すための指導などの実施            衛生行政との共同事業等を通じて貯水槽水道設置者に対して指導・助言を行うとともに、平成23年度以降3年間の事業方針を策定しました。また、衛生行政と水道局が連携・協力しながら貯水槽水道の適正管理を指導する方針を定め、文書を取り交わしました。</p>	貯水槽水道の仕組みや適正な管理の重要性に関する広報の実施、及び貯水槽水道設置者に対する、適正な管理を促すための指導などの実施。
<b>水道GLP体制の維持</b>	-	水道GLPの更新審査を受けて再認定されました。 また、計画的な水質検査機器の更新及び検査担当者への教育研修を行いました。	水道GLPの体制を維持するための、精度管理及び教育研修などの継続。

### 基本的方向性2 安定・信頼の水道システムの確立

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
<b>配水ブロック再編成率</b> <small>(配水ブロック再編成完了箇所数/配水ブロック再編成総数) × 100</small>	↑	87.2%	93.1%
<b>道路内埋設の鉛製給水管残存率</b> <small>(道路内埋設の鉛製給水管残存件数/給水件数) × 100</small>	↓	8.6%	3.7%
<b>有効率</b> <small>(有効水量/年間総配水量) × 100</small>	↑	96.0%	95.5%

## 中期経営目標実績一覧表

平成23年12月公表  
(平成22年度実績値)

### 基本的方向性2 安定・信頼の水道システムの確立

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
浄水施設の耐震化推進	-	浄水能力の大きい茂庭浄水場の耐震化について優先的に取り組み、耐震詳細診断が完了しました。	平成25年度までに、茂庭浄水場系統の耐震化工事を完了。
配水施設の耐震化推進	-	荒巻配水所については耐震化工事の実施設計を、大年寺山配水所については耐震詳細診断を行いました。	平成26年度までに、荒巻・大年寺山配水所の耐震化工事を完了。
耐震性を有する管路の割合 (耐震性を有する管路延長/管路総延長) × 100		84.5%	85.7%
災害拠点病院などへの管路の耐震化率 (災害拠点病院などへの管路耐震化完了数/災害拠点病院などの総数) × 100		22.2%	55.6%
拠点給水施設整備箇所数 災害などによる断水時に応急給水するための拠点給水施設(非常用飲料水貯水槽、応急給水栓など)の整備箇所数		65箇所	75箇所

### 基本的方向性3 お客さまの視点に立った事業運営

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
お客さまの声の施策への反映	-	広報紙アンケートの実施(1回)や水道モニター会議の実施(4回)によりお客さまの声の把握や業務の改善に努めました。	お客さまの声の的確な把握と施策への反映。及びお客さまの声に対する改善・検討事例の水道局ホームページなどでの公表。

中期経営目標実績一覧表

平成23年12月公表  
(平成22年度実績値)

基本的方向性4 環境に配慮した事業運営

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
二酸化炭素総排出量	↓	20年度比 4.8%増加  平成21年度以降、電力消費量の集計を従前より精緻に行っているため、新たに算出した平成20年度の二酸化炭素総排出量との比較で増減率を算出しています。	20年度比 2.7%減少
配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量 【水道事業ガイドライン4001】 電力消費量 / 年間総配水量	↓	20年度比 増加  平成21年度以降、電力消費量の集計を従前より精緻に行っているため、新たに算出した平成20年度の電力消費量との比較で増減率を算出しています。	20年度比 減少
再生可能エネルギーの導入	-	太陽光発電については、平成23年度までの導入方針決定に向けて、検討を行いました。 また、小水力・動力回収水車については、平成26年度までの導入方針決定に向けて、検討を行いました。	再生可能エネルギーの導入 推進。
浄水発生土の有効利用率 【水道事業ガイドライン4004】 (有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100	↑	97.3%	90%
【再掲】有効率 (有効水量 / 年間総配水量) × 100	↑	96.0%	95.5%

## 中期経営目標実績一覧表

平成23年12月公表  
(平成22年度実績値)

### 基本的方向性5 経営基盤の強化

指標	望ましい変化	平成22年度実績	平成26年度目標
<b>累積欠損金比率</b> 【水道事業ガイドライン3004】 [累積欠損金 / (営業収益 - 受託工事収益)] × 100	↓	5.9%	9.9%
<b>給水収益に対する企業債残高</b> 企業債残高 / 給水収益	↓	3.3倍	3.2倍